

5G 利活用型社会デザイン推進コンソーシアム 設立趣意書

わが国は、生産年齢人口の減少や地方の過疎化、自然災害リスクの増大、新たな感染症の感染拡大に伴うサプライチェーンの混乱など、深刻な社会課題に直面しており、産業・社会全体におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）を図ることによって Society 5.0 の実装を加速させ、さまざまな社会課題の克服と持続的な経済成長を確実なものとしていくことが必要です。DX の推進を支える IoT やビッグデータ、AI、量子コンピューティング等のデジタル技術と、第 5 世代移動通信システム（5G）をはじめとする高度情報通信技術は、あらゆる領域で生産性向上と新たな価値の創出に貢献することが期待されています。

一方、政府においては、社会全体の DX を強力に推進するため各種支援策や規制改革等の政策を打ち出しています。その中で、特に、5G 等のシステムの導入促進は、産業基盤の構築に加えて地方創生の観点からも重要であると位置付けられ、先般施行された「特定高度情報通信技術活用システムの開発供給及び導入の促進に関する法律」に基づき、今後、これらの普及を図るための措置が講じられることとなりました。

このような状況を踏まえ、関連省庁・団体、地方公共団体、大学等の協力のもと、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の「共創プログラム」の一環として同協会が事務局を務める業界横断の「5G 利活用型社会デザイン推進コンソーシアム」を設立します。

本コンソーシアムでは、今後、幅広い産業分野のステークホルダーが共創・連携できる場を形成し、5G やデジタル技術等を活用した DX の社会浸透を目的に活動します。また、わが国の技術力向上や国内外の通信政策に対する発信力の強化につながる活動を進めてまいります。

2020 年 9 月 24 日

発起人

東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 教授 森川 博之
一般社団法人電子情報技術産業協会 専務理事 長尾 尚人